

神戸市私立保育園連盟 “園長・保育士・職員研修会”

## 発達障害を考える

同志社大学大学院心理学研究科

赤ちゃん学研究センター 教授 小西行郎

### 1. 発達障害は増えているのか

#### ①自閉症スペクトラム

境界線はあるのか？

操作的診断法の問題点

個性か、障害か

#### ②環境要因

##### ・社会の変化

情報の高速化、効率・成果主義による社会の変化の中で浮かび上がってきた  
発達障害

##### ・子ども観・子育て観の変化

孤立化する親、遊べない親、子どもの中に大人を求める親、虐待、睡眠障害

### 2. 発達障害のアセスメント

#### ①誰が困っているのかを考える

親や保育士の都合にあわないだけなのではないかをまず考える

問題行動を起こした時の状況を正確に把握する

周囲の子どもとの関係も考える

#### ②何が問題なのかを考える

##### ・問題の背景を考える

親の状況を把握すること

生活リズムなどの点検

(睡眠・食事・体調などのチェック)

- ・問題行動の状況を考える

問題を起こした時の状況の把握と分析

動機を聞く（その子の立場で）、生活環境のチェック

### ③個人のアセスメント

- ・子ども全体の発達を見る

行動観察 i. 集団場面で ii. 運動観察

- ・発達テスト

点数のみで考えないこと

生データを大切に

## 3. 保育の中で

### ①気になる子を集団に入れるということ

- ・子供集団の中での立ち位置を作る  
役割分担などを工夫する  
集団の中で褒める

- ・逆模倣をうまく使う、時には主役も

- ・子供集団に入れること

物を使う、音を使う、動作を共有する

### ②発達に合わせて

総合的な判断で発達レベルを把握し、理解することは必ずしも直接的に学習や訓練にはつながらないことを忘れないこと  
できないことと、しないことはきちんと整理して

### ③加配の保育士

うまく子供を集団にいれて、自分から自然に離れるようにすること

## 4. 地域で育ててゆくために

①カミングアウトは必要・・・友達にも、その親にも理解を

②障害の受容は強制できないからこそ、時間をかけてじっくりと

③療育の現場は保育園・幼稚園、けっして専門施設ではない